

Minami Kyushu University Syllabus

[illegible]

授業計画 【第11回】	第11回 レクリエーションスポーツ：パラスポーツの概要 障害、スポーツ、ならびにバラ（障害者）スポーツの資料冊子を配布しパラスポーツについて学ぶ。
授業計画 【第12回】	第12回 レクリエーションスポーツ：パラスポーツを体験 様々なパラスポーツを資料を配付し紹介し、実践する。
授業計画 【第13回】	第13回 レクリエーションスポーツ：マットスポーツの特性 歴史・安全確認・マット特性などについて説明する資料冊子を配布しマットスポーツについて学ぶ。
授業計画 【第14回】	第14回 レクリエーションスポーツ：マットスポーツのゲーム マットを使ったゲームやトレーニング理論を理解させ実践で行う。
授業計画 【第15回】	第15回 新体力テスト(握力・上体起こし・立ち幅跳び・反復横跳び・20メートルシャトルラン・長座体前屈) 1年間で自分がどれだけ体力に差が出たのか、自分の体力・身体について理解する。
授業の到達目標	①様々なスポーツの実践を通して、それぞれ基本技能を修得し、仲間とのコミュニケーションやチームワークを培うようにする。【態度・志向性】 ②スポーツに積極的に向き合えるようにし、実践を通して基本的ルールや守るべき伝統を理解し規律正しい行動や態度で取り組めるようにする。【知識・理解】 ③スポーツを通し自分に何が足りないかを理解し、目標設定と達成に向けて実践することが出来る。【自己管理能力・生涯学習力】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)
授業時間外学習【予習】	【予習】-各自、その日の体調を考慮し、ストレッチを行ってください。(毎回30分程度) 競技に関するルールや伝統、競技特性などを予習しておいてください。(毎回1時間程度)～計30時間
授業時間外学習【復習】	【復習】-生涯スポーツの観点から開講期間中(4月から翌1月)に週1時間30分程度の スポーツ活動してください。～計60時間
課題に対する フィードバック	授業中に、取り組み・習熟度などについて全体への評価コメントを行う。必要に応じて、個人に対してもアドバイス・評価コメントを行う。
評価方法・基準	授業実施回数の80%以上の出席をもって評価の対象とする。 以下の内容を総合的に評価する。 (1) 平常点評価 60%：授業態度、ルール、マナー、各種目への取り組み等、授業への積極性、貢献度を評価する。 (2) 授業内評価 40%：実技、筆記(ルール、マナー、健康について)を実施し、技能、理解度や個人の体力向上とクラス内でのコミュニケーション能力を評価する。 ※遅刻、無断での途中退席、早退等は授業態度(取り組み、積極性など)として評価されることがある。
テキスト	大学生のためのスポーツリテラシー&スポーツウェルネステキストブック』(日本文化出版)1,300円(税別) 配布資料による
参考書	体育の授業づくりの学修 大学教育出版 各競技の初回授業時などに必要に応じて参考書を紹介する。
備考	体調不良や怪我の場合は、速やかに教員に連絡してください。